

Anti human MR mouse monoclonal antibody

MR: Mineralocorticoid Receptor

製品コード PP-H3122-00

Clone No. H3122

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 μ L

Ig class G2a

Nomenclature NR3C2

Genbank M16801

由来 ヒトMR (2-99 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト MR と特異的に反応する。マウスおよびラット MR と交差反応する。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN₃添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可
参考使用濃度 1 μ g/mL

非還元 Western Blot 未検討
参考使用濃度 -

ELISA 可
参考使用濃度 0.2 μ g/mL

免疫沈降 可
参考使用濃度 適宜調製してください

Supershift Assay 未検討
参考使用濃度 -

クロマチン免疫沈降 未検討
参考使用濃度 -

免疫染色 可
参考使用濃度 20-40 μ g/mL



ヒト
大腸
パラフィン切片



ラット
大腸
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol. 2006; 20(12): 3412-20
Qin J, *et al.* Dev Dyn. 2007; 236(3): 810-20
Shibata S, *et al.* Nat Med. 2008; 14(12): 1370-6

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jun 23, 2010